

# 新都市社会技術融合創造研究会 平成24年度 事業計画（案）

## 1. 活動方針

平成14年度に設立された新都市社会技術融合創造研究会（以下「研究会」という）においては、設立後9年が経過し、当初5つのプロジェクトチームでスタートしたが、研究を終了したプロジェクトも含め、27のプロジェクトチームが活動を行ってきた。

本年度においては、本会の活動目的である産学官の連携による新しい技術の研究・普及をさらに進めるために、継続しているプロジェクトチームの活動支援を引き続き行うとともに、研究成果の公表、外部評価などを実施し、WG活動の推進を図る。

## 2. 事業方針

### (1) 研究会活動の推進

研究会のさらなる発展、産学官連携における活動を推進する。

### (2) プロジェクトチームの活動推進支援

プロジェクトチームの活動支援を引き続き行う。

### (3) 広報・研修事業

研究会の活動内容について、研究会主催にてセミナーの開催を行う。また、委員会終了後、記者発表などにより広報活動の充実を図る。

## 3. 事業内容

### (1) 研究会活動の推進

#### 1) 委員会の開催

各プロジェクトチームの活動状況を把握するとともに、道路に関する新技術等の情報交換の場となるよう委員会を開催する。

#### 2) 幹事会の開催

委員会の円滑な運営のため幹事会を適宜開催する。

### (2) プロジェクトチームの活動推進支援

#### 1) 既存のプロジェクトチームの活動推進支援

現在、活動中のプロジェクトチームにおける活動の推進を図る。また、研究期間が終了したプロジェクトチームにおける研究成果の公表をセミナー開催を通じて行う。

（プロジェクトチーム一覧は別紙参照）

#### 2) 新たなプロジェクトチーム設立支援

新たな研究テーマについて、研究者の公募を行うとともに、応募された内容について



## プロジェクトチーム一覧

プロジェクトチーム	プロジェクトリーダー	研究期間
インフラ資産評価・管理の最適化に関する研究	小林潔司	終了
ITSを活用した道路交通ネットワークの高度化に関する研究	谷口栄一	終了
既設構造物の延命化技術に関する研究	宮川豊章	終了
透水性舗装の現状把握及びその各種都市環境への影響評価手法の確立	大西有三	終了
橋梁コスト縮減構造に関する研究会	家村浩和	終了
トンネル坑口部付近における騒音予測に関する研究	松井利仁	終了
排水性舗装混合物のリサイクル技術研究	山田 優	終了
道路トンネルの健全性評価に関する研究	大西有三	終了
ITSを活用した道路交通ネットワークの調査・評価手法に関する研究	谷口栄一	終了
ITSを活用したまちづくりのための交通マネジメントに関する研究	谷口栄一	終了
積雪寒冷地における舗装耐久性向上及び補修に関する研究	小林潔司	終了
鋼橋の疲労亀裂進展シュミレーション手法の開発とその維持管理への応用に関する研究	坂野昌弘	終了
道路防災モニタリングネットワークシステムの構築に関する研究	西山 哲	終了
景観に優れたアーチカルバートを用いた盛土構造に関する研究	岸田 潔	終了
既設橋の最適延命化方策の評価・策定に関する研究	宮川豊章	終了
アンカー工設置のり面の健全性評価に関する研究	沖村 孝	終了
舗装用骨材資源の有効利用に関する研究	山田 優	終了
物理探査の連続計測による斜面地盤の工学的評価手法に関する研究	楠見晴重	終了
橋梁の延命化シナリオ策定の実践・検証に関する研究	宮川豊章	H22～H24
都市環境改善舗装の普及に向けた維持管理手法に関する研究	大西有三	H22～H24
走行型計測技術による道路トンネル健全性評価の実用化検討に関する研究	大西有三	H22～H24
高齢化を迎えた長大橋梁の診断と長寿命化に関する研究	坂野昌弘	H22～H24
ナノセンサデバイスを活用した道路管理手法に関する研究	西山 哲	H22～H24
アーチカルバートを連続的に含む景観性に優れた盛土構造の耐震性能評価と災害復旧に関する研究	岸田 潔	H22～H24
ゲリラ豪雨時における道路斜面安定性評価に関する研究	小山倫史	H22～H24
道路付帯施設・情報管理施設のアセットマネジメントに関する研究	小林潔司	H22～H24
橋梁細部における海塩粒子の付着量推定と腐食劣化予測手法の開発に関する研究	白土博通	H22～H24